

インドネシア水道に係る情報収集 No. 180901W

検索サイト	Google	実施日	2018/09/14	実施者	T.Masuoka
検索方法：「Indonesia Water supply」で検索					
URL: https://theaseanpost.com/article/managing-jakartas-water-related-risks					
標題：Managing Jakarta's water-related risks. (2018年8月22日)					
<p>内容： 題名 ジャカルタの水関連リスクの管理</p> <p>○ジャカルタの水の課題</p> <p>①世界で最も洪水のリスクの高い都市。</p> <p>②ジャカルタに流れる13の河川で、上水用に使用可は、1河川のみ、しかも、全体の必要量の2.2%しか供給できていない。</p> <p>③ジャカルタの40%の土地が海面レベル以下。</p> <p>④水道公社からは、年間必要量の35%、12億7千万リットルしか供給できていない。</p> <p>⑤不足分→4,720本の井戸から供給（2016年度）。規制がされているにも拘わらず、井戸の本数は増加中。</p> <p>○問題の解決策</p> <p>原因；気候変動だけではなく、地下水の揚水の影響が大。</p> <p style="padding-left: 20px;">また、モンスーンの増加により、洪水の危険が増大。</p> <p>★早急な対策必要→さもなければ大幅に悪化の懸念。</p> <p>対応策；地下水依存の削減、信頼性の高い給水の提供、下水と廃棄物処理の整備必要。</p> <p>○ジャカルタの地盤沈下の現状（2016年東京工大、東京大、早稲田大学の研究結果）。</p> <p>今後の浸水地域の面積（海水面以下）</p> <p>2025年；25.7平方km、2050年；110.5平方km。</p> <p>→加速度的にリスク増大。2000~2025年に対し、2025~2050の浸水面積は3.4倍に拡大。</p> <p>○東京の1960年代の状況の紹介；最大4.5mの沈下を経験、10年で解決。</p> <p>最後に</p> <p>ジャカルタは東南アジアで最も脆弱な都市；</p> <p>洪水、海面上昇増大、暴風雨の頻度増加などの気候変動に加えて、深刻な水質汚染や過剰な地下水の採取などの人による災害にも脆弱。</p> <p>→解決は難しいものの、まだ手遅れではない。市と関係当局は適切で迅速な処置が必要</p>					
備考					